

表 茨城県内の労働災害発生状況(令和2年10月)
(令和2年10月末現在(速報値)・令和元年発生分(確定値))

業種別	(10月末速報値)						令和元年 (確定値)	
	死傷者数 (休業4日以上)		うち死亡者数		増減		死傷者数 (休業4日以上)	うち死亡者数
	R元年 1月～10月	R2年 1月～10月	R元年 1月～10月	R2年 1月～10月	死傷(%)	うち死亡(%)	令和元年 確定値	令和元年 確定値
計	2,153	2,280	21	16	127 (5.9)	-5 (-23.8)	2,966	24
製造業	646	621	11	2	-25 (-3.9)	-9 (-81.8)	884	11
食料品	203	206	3	0	3 (1.5)	-3 (-100.0)	284	3
化学	72	74	0	0	2 (2.8)	0 (0.0)	88	0
金属製品	101	92	0	1	-9 (-8.9)	1 (100.0)	141	0
建設業	227	223	6	4	-4 (-1.8)	-2 (-33.3)	296	8
土木	47	54	1	2	7 (14.9)	1 (100.0)	68	2
建築	119	122	2	1	3 (2.5)	-1 (-50.0)	154	3
その他	61	47	3	1	-14 (-23.0)	-2 (-66.7)	74	3
運輸交通業	272	304	2	0	32 (11.8)	-2 (-100.0)	357	2
道路貨物運送業	251	281	2	0	30 (12.0)	-2 (-100.0)	333	2
貨物取扱業	25	40	0	1	15 (60.0)	1 (100.0)	44	0
陸上貨物取扱業	24	38	0	1	14 (58.3)	1 (100.0)	42	0
農林業	32	61	0	1	29 (90.6)	1 (100.0)	46	0
畜産水産業	98	112	0	1	14 (14.3)	1 (100.0)	136	0
商業	296	324	1	1	28 (9.5)	0 (0.0)	407	2
小売業	216	245	0	1	29 (13.4)	1 (100.0)	296	1
社会福祉施設	110	153	0	1	43 (39.1)	1 (100.0)	167	0
飲食店	75	61	0	0	-14 (-18.7)	0 (0.0)	102	0
その他	372	381	1	5	9 (2.4)	4 (400.0)	527	1

(注)表中の死亡者数は、死傷者数(休業4日以上)の内数。

「道路貨物運送業」と「陸上貨物取扱業」を合わせて「陸上貨物運送事業」という。

令和 2 年 死亡災害事例

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
1 1月 13～14時	作業員 40歳代 10か月	産業廃棄物 処理業	はさまれ・ 巻き込まれ トラック	ごみ収集車で収集作業中、回収した可燃ごみを一人で車両後部の投入口に入れていたところ、ごみを車両に回収するために連続回転している回転板に身体を巻き込まれ、死亡した。
2 2月 7～8時	貨物自動車 運転者 50歳代 11年	陸上貨物 取扱業	墜落・転落 移動式 クレーン	納品先の工場において、積載型トラッククレーンの荷台に積んできたガスボンベ（直径1m、長さ1.2m）にワイヤーロープを掛けて一人で荷下ろし作業中、荷台のガスボンベの上（高さ約1.7m）から地面に転落し、死亡した。
3 2月 11～12時	作業員 60歳代 18年	土地整理 土木工事業	はさまれ・ 巻き込まれ 整地・運 搬・積み 込み 用機械	雨水排水溝工事現場において、不整地運搬車の荷台に積まれた強化プラスチック製の側溝をクレーン機能付き油圧ショベルで荷下ろしするため、当該不整地運搬車の後方で玉掛用具を持って待機していたところ、荷下ろしのために近づいてきたクレーン機能付き油圧ショベルと不整地運搬車の間にはさまれ、死亡した。
4 3月 12～13時	作業員 70歳代 12年	社会福祉 施設	墜落・転落 地山・岩石	事業場内の法面（勾配43°）で除草剤を散布していたところ、何らかの原因で墜落し、死亡しているのが発見された。
5 4月 19～20時	運転者 40歳代 5年	農業	交通事故 トラック	トラックを運転して荷物を運搬中、カーブを曲がり切れず、コンクリート壁に衝突し、車外に投げ出されて死亡した。
6 5月 8～9時	土工 40歳代 15年	道路建設 工事業	激突され 立木等	建設現場内の道路脇の斜面にある立木（胸高直径22センチメートル、樹高約15メートル）をチェーンソーで伐倒していたところ、伐倒していた立木が縦に裂けて跳ね上がり、被災者の頭部を直撃した。
7 6月 13～14時	作業員 70歳代 40年	畜産業	交通事故 フォーク リフト	フォークリフトのパレット上にゴムホースのドラムを載せて、町道の下り坂を走行していたところ、ブレーキが利かなくなり道路左側の斜面に衝突し、横転した。その際、運転していた被災者は道路に投げ出され、フォークリフトの下敷きになり死亡、同乗者も道路に投げ出されて負傷した。

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
8 7月 6～7時	配達員 30歳代 1年	新聞販売業	交通事故 乗用車・バス・バイク	原付バイクで片側一車線の道路を走行中、前方から走行してきた乗用車と正面衝突した。
9 7月 14～15時	作業員 70歳代 2年	その他の事業 その他	崩壊・倒壊 荷姿の物	低温倉庫内において、フレコンバッグ(1袋の重量1トン)を同僚が運転するフォークリフトを使用して移動させる作業中、被災者の背後にあった4段積みフレコンバッグが倒れ、下敷きになったもの。
10 8月 13～14時	ゴミ収集員 50歳代 5年	その他の廃棄物処理業	交通事故 トラック	同僚と二人でゴミ収集作業中、被災者は車から降りて収集場所のゴミを収集車に積み込んだ後、徒歩で次の収集場所へ移動していたところ、被災者が住宅の駐車場のチェーンにつまずいて転び、左折してきた収集車にひかれた。
11 8月 10～11時	その他の職種 70歳代 20年	クリーニング業	墜落・転落 屋根・はり・もや・けた・合掌	工場の屋外に設置された排気ダクトから異音がしたため、被災者がスレートの屋根に登り点検していたところ、当該スレート屋根を踏み抜き、約5メートル下のコンクリート床に墜落した。
12 9月 11～12時	作業員 20歳代 6年	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	墜落・転落 作業床・歩み板	倉庫建設現場において、被災者が鉄骨に上り鉄骨のボルトの本締め作業を行っていたところ、天井下地材の薄板鋼板を踏み抜き、約6.4メートル下のコンクリート床に墜落した。
13 9月 9～10時	配管工 30歳代 3か月	機械器具設置工事業	激突され 荷姿の物	工場建設現場において、小型ボイラー(高さ2.7メートル、重量2.8トン)を据え付けるための搬入作業中、建物の段差部分を通す際に、当該ボイラーの下にハンドリフトを差し入れてボイラーを浮かせていたところ、ボイラーがバランスを崩して横転し、被災者が下敷きになった。
14 10月 9～10時	運転者 30歳代 3年	産業廃棄物処理業	飛来・落下 トラック	事業場内で、脱着装置付きコンテナ車(大型トラック)にコンテナ(荷台)を架装するため、車体に装着されたアームのフックにコンテナを引っ掛けてトラックの車体に引き上げ架装していたところ、フックが外れてコンテナがずり落ち、後方を通りかかった被災者に激突した。
15 10月 8～9時	作業員 60歳代 51年	その他の金属製品製造業	はさまれ・巻き込まれ その他の金属加工用機械	被災者は、ワイヤーロープを製造する回転式装置に鉄線を巻き付ける作業を一人で行っていたところ、当該装置に頭部を巻き込まれて死亡した。被災者は始業前に一人で作業を行っており、出勤した同僚に発見された。

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
16 10月 19～20時	作業者 30歳代 8年	その他の廃棄 物処理業	有害物等と の接触	下水道管の汚泥を取り除く作業を終えてマンホールから地上に出ようとしていたところ、マンホールの底（深さ約7メートル）に転落した。マンホール内からは、有毒ガスの硫化水素と一酸化炭素が検出された。
			異常環境等	

死亡災害事例は速報であり、今後変更することもあります。